



# WORLD 1st.ANNIVERSARY KYOTO POP 02

取材・文・撮影/トリアアワト

@WORLD [世界]



気分は「まだ一周年？」って感じか。それぐらい既に夜のスタンダードとなったWORLD [世界] の1stアニバーサリーは、大沢伸一、田中知之…などなど「オープニングイベントと同じ顔プレヤん！」と言いたいところだが、DJ界の2大アイドルを当たり前のように同時に拝める底デカラに改めてビッグなパースデーパーティと実感。それにしても、ワールドワイドなアーティストを相手に、

はたまた木屋町を活気づける町興しナイトまで、WORLD [世界] が木屋町に、いや京都に沸き入れた功績は称賛に値する。そんなボータレスなつながりを祝う今宵、遠方からのべっぴんさんや、サンダル通いのご近所パーテンまで続々と押しかけ、ベタこいダンス〜ポップ〜フレンチテクノが流るるスシ詰め状態なるハコに、「これでもか！」と人が飛び込み乱舞の囃、と相成り候。

- A. ワールドの立役者（伊達男）、中本幸一氏。「とびきりハッピー！」と叫び、感無量の故に、首から抱舞の嵐、嵐
- B. 世界のオオサワ、井の刻を過ぎてのご自慢。オーディエンスをハイボルテージにさせたまま自らはクールにスピン
- C. 世界を大股にかけ、名も体もビッグなFNM田中氏。ケミカルからスカバラまで、ハイチューンな選曲は全てリスペクトもの！
- D. アニバーサリー記念は、3日連続チャンでこちらのDJを亡らし、相も変わらず引っぱりダコで藤本氏
- E. お馴染みハイテクスタイルを仕切る京女、山口裕加さん。美女を深り出す自身もやはり美女。今日は浴衣で一狂舞！
- F. 左からフリーターのニリー、SHAFT'65のおさくらさん、まんざら平のいそやん、フリーターのともこ。ハイ、酔っ払いです
- G. 眞田節子の言っ穴中、うちわが舞れるまで踊り続けた成安造形大2年の小嶋舞鳥さん。異方2人両件でお慶っぶりを発露？
- H. ショバリのモミさん（左）とまんざら平のいそやん（右）。大阪→京都つながりに何故と問えば「輪廻」。二人でニヤニヤ
- I. もち大沢さんといの神戸美女。共に入社3カ月、科学研究所のお色気（!?）秘書、那須さん（左）とドコモの中村さん（右）
- J. 藤友、田中氏に会いにきたエフィッシュの松永さん（左）とデリックの小川さん（右）。京都の舞いぬ文遊録がココにあり



D.



B.



A.



E.

# 第1回 西院 (SAI) MUSIC FESTIVAL 2002

## サイのからさわぎ

@阪急西院駅周辺21会場

取材・文・撮影 / トライアウト

「西院を元気ある街にしようや」と、阪急西院駅前のバー・スタッフら、若者3人が音楽イベントを企画したのがキッカで、その呼びかけに応じた駅周辺の喫茶店やバー、ライブハウス、ショップなど計21店舗がギャラリーやライブ会場に様変わりした第1回西院町興しフェス。「やっぱ夏は野外でしょ」と、西院春日神社をメイン会場に、民族音楽〜スカー・ジャズまでステージは多彩&混沌なれど、

正しい手作り感がヒシヒシ。幼児からお年寄りまで大集結した夕闇迫る18時30分、元憂歌団の木村充揮氏がメインゲストとして登場。かの天使のタミ声は荘厳な境内にマッチし、老若男女のボランティア約120人ををはじめ、街のことを思う人のつながりが成功を生んだ今回。これぞホンモノの町興し。今後、各エリアでも見習って欲しいと嘆願す。



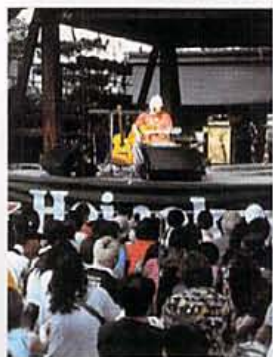
F.



H.



- A. メインゲストで登場した元憂歌団の木村充揮氏。「グ、グ、グ、グのグー」も飛び出した1時間の舞沢ライブに満腹謝礼
- B. 西会場で行われたバンド約40組によるライブイベント。単カッパ「恋文家」では野崎るみ花さんがユルユルグループを放出
- C. 充揮ファン「バババママと来ていた久保田麻ちゃん」1歳3か月。将来はブルーシンガーになる？「はーい！」いい子ですっ
- D. 「いっばい来てくれてはって嬉しいね」と、西院春日神社の宮司、米川安宣さん。今、チャット読んではまりましたよね？「ハイ(笑)」
- E. 「木村充揮さん好きなんです〜」とは、大阪からお越しのかづみさん。その口ずさみ加減、いや喉いっぴりは本物ッス！
- F. 出前さんどんサークルに所属する立命大3年のツバキさん。「東京で見て気になったスカバンドに遭遇。マジ感動です」
- G. ボランティアスタッフとして働く楽科助手の千都さん(右)と京都外大4年の美希さん。「このイベントで親友になりました」



G.



F.



J.